



SAP Ariba 

機能の概要

管理作業の監査ログ

Kevin Cheng、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 管理作業の監査ログ

今までの課題

現在、Guided Buying (GB) での顧客管理者による管理変更は、ログ記録も追跡もされません。これらの変更は、以下の 3 つのカテゴリに分けられます。

- データアクセス: 既存データのエクスポートまたはダウンロード
- データ変更: データの変更、追加、または削除。古い値と新しい値が両方とも記録されます
- 設定の変更: アプリケーション設定の変更、追加、または削除。古い値と新しい値が両方とも記録されます

この問題は、内部レポートの Service Organizational Control (SOC) であるのか、外部規制の米国サーベンスオクスリー法 (SOX) であるのかに関係なく、お客様がコンプライアンス要件を満たす際の障害となっていました。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying (Guided Buying 機能あり)
- SAP Ariba Buying and Invoicing (Guided Buying 機能あり)

SAP Ariba で問題解決

お客様が課題に対処できるようにするため、Guided Buying (GB) では、SAP Ariba 監査サービスを使用して、管理変更をログ記録します。このような変更には、たとえば、イメージ、翻訳、戦術的ソーシングの設定、パラメータ設定、ランディングページ設定、規定の設定、目的別ドキュメントの設定、およびチェックアウトページの設定があります。

各ログエントリには、共通のデータポイント (クライアント ID、サービス名、テナント ID、ユーザー、日時など) が含まれます。

この機能では、フォームに加えられた変更はログ記録されません。また、条件値に対して実行されたテストもログ記録されません。

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

1. SAP Ariba Open API の一部である SAP Ariba Audit Service API を使用します
2. Audit Service API を使用するには、外部アプリケーションを作成するか、またはログ監査システムを設定して HTTP 要求を生成し、応答を受信する必要があります
3. Audit Service API の詳細については、SAP Ariba Developer Portal (<https://developer.ariba.com/api>) を参照してください

導入の難易度
対象エリア

ロータッチ/容易
グローバル

主なメリット

この機能によってもたらされる 2 つのメリットは以下のとおりです。

1. お客様がコンプライアンス要件を満たし、監査確認に合格できるようになります
2. 明確なログが提供され、顧客管理者による管理変更/活動を追跡することができます

前提条件と制限事項

なし